No.14 昭和58年11月（1）

凌霜ラガー通信

連絡先 〒545 大阪市阿倍野区文の里3-14-8-304
山下 弘 TEL 06-621-9751

合宿の成果と今季の展望

主将 小松伸啓

今年度の合宿は、例年同様、長野県岩岳において、8月13日から20日までの8日間行いました。天候の方は折からの台風の影響で良いとは言えませんでしたが、全く練習できないという程でもなく、可能な範囲で最大の成果の望める練習を行い、またそうできたと思っています。

その内容ですが、まずFW、BK一体となった連携プレーに主眼を置きました。これは傑出した選手のいないチームでは最高の攻撃法と考え、春先から一貫して練習してきた事です。そしてもう一つ、日頃あまり練習できない組織的なディフェンスの再チェックをと思い、特にBK同志及びFWのバッキングを強調して練習を行いました。

練習は午前と午後の2回、午前中は主にFW、BKに別れたパート別の練習、午後からは相手をつけた試合形式の練習や練習試合を行い、午前中の練習を実際に試してみるという形をとりました。パート別の練習では、FWはセットプレーの強化に重点を置きましたが、ただいたずらに数多くスクラムを組むという様な昔ながらの考え方を捨て、シチュエーションを想定し、その状況ではどうするのか、ということを考えながら進めました。これは、最近ではスクラムやラインアウトのバリエーションが多様化し、その対応に立ち遅れているのが毎年の状態ですので、その点を踏まえてのことです。BKでは従来から言われているHB団の強化、フォロー、バッキングの必要性を再認識させることを中心に練習を行いました。

文頭で述べた様に天候に恵まれず、思った様に練習は消化できませんでしたが、もともと部員個々には能力を持った者が多く、大切なことは合宿を通してラグビーチームとしての意識を喚起することにあり、その意味においては今合宿は成功だったと満足しています。一つ残念な事は、合宿後半になってケガ人が続出、特にFWは惨状を呈していましたが、幸いなことに大きな事故につながることもなくホッとしています。

合宿を終わって得た感触では、今年のチームは非常によくまとまった好チームになったと自負しており、今季は好成績をあげられるのではと思っています。

OBの皆様も是非ご声援下さる様、お願い致します。

訃報

昨年から本年までに次の7名の方のご逝去の報をいただいております。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

生島広治郎様（顧問），今里麟次郎様（大15）
尾上長三郎様（昭4），本多 勉様（昭9）
川又 正三様（昭9），内山 緑朗様（昭10）
福田 毅郎様（昭40）

お待ちどうサマ、ゲームです！

OB主将 葉室 力

総会でもお話ししましたように、次の通り、久方振りにゲームを組みましたので、OB諸兄の多数の参加をお願いします。

1. 対戦相手 住友銀行
2. 日時 11月27日（日）13時集合 14時KO
3. 場所 浜甲子園、住友グランド（全面芝生）
   西宮市浜甲子園4丁目 0798(41)1633
   阪神甲子園より1.5Km 浜甲子園から西800m
4. その他 ジャージ：白地にRマーク入り
   ストッキング：紺、当日相当数用意あり
   （特価3,000円）

58年度 現役リーグ戦スケジュール

9.11	神大	9	6－3 3－4	7	大教大	
10.16	〃	0	0－9 0－6	15	関西大	
30（日）	京教大		15：50		於関学大	
11. 6（日）	甲南大		14：20		〃神戸大	
20（日）	大市大		13：00		〃万博球	
27（日）	関学大		14：40		〃大教大	
12. 4（日）	大商大		15：00		〃京教大	

ジュニアリーグ（教育リーグ）スケジュール

9.10	神大	20	10－0 10－4	4	関学大	
17	〃	0	0－40 0－49	89	大体大	
23	〃	0	0－16 0－28	44	京産大	
10.23（日）	京都大		15：30		於神戸大	
29（土）	同志社		15：00		〃同志社	
11.12（土）	立命館		15：30		〃立命館	
19（土）	甲南大		13：00		〃甲南大	
26（土）	大経大		15：00		〃大経大	
12. 3（土）	関西大		15：00		〃関西大	

今里さんを偲んで

中山源七（昭7）

ラグビー部創設者である今里麟次郎さんが去る七月三十日逝去され、故人を知る一人として謹んで哀悼の意を表するものです。昨年九月脳血栓で入退院を繰返し乍ら余病を併発され遂に永眠されたのであります。私が旧神戸高商に入学した当時は陸上競技部の主将をしておられ、ハイハードルでは度々朝日新聞のスポーツ欄を賑わせて下さったのを思い出します。長身でスリムなのによく闘志が湧くものだと敬服していました。京都一中の出身でラグビーをよく知っていたので大正十年頃に陸上部有志が主体となってボート，サッカー、野球などと相謀って創設を進められた。なにしろ十五人揃えなければならぬ競技で当時の在校生千二百人で、且つ狭い上筒井のグランドでは先づ人集めでは相当な御苦労があったこと〻予想されます。私も度々経験したことですが、試合前日になってやっと人数が揃って練習出来たことがありました。当時の苦労話をされる今里さんの目の色は輝いて楽しそうでもありました。学生時代は余り話を交わしませんでしたが、満州から引揚げ東京在住の二十数年間は凌霜クラブでお目にかゝる幸せを得ました。関寺さんらとコーヒーを飲み乍ら駄弁ったこともあります。京一中のクラスメイトには京大ラグビーの故星名さん、日中孤児問題の坂口さんらがおられ、且両氏とも私の満鉄時代の兄貴分であったのも何かの御縁と思っている次第です。今里さんは三和銀行退職後は好きな機械いぢりの仕事をされ、凌霜クラブでは只一人パイプタバコをふかすスタイルがお似合いでした。一流品好みのスポーツマンで体育理論にも一家言を持っておられた紳士でした。

まだ余命はあったかも知れませんが八十才近くまでラグビーを愛しておられた彼の人生は美しく清らかであったと思っています。

重ねて心から御冥福を祈り上げます。

OB：現役戦報告

4月29日小雨模様の天候の中、六甲台にOB18名が集り現役とのゲームを楽しんだ。残念ながら参加人員が少く、昭和30年卒の赤崎先輩にも出場をお願いする始末。それでも内容はOBの善戦でした。

14：00　キックオフ（OB）
　緒戦、OBスクラム押し勝ち、ラインアウトで敵ボールをしばしばマイボールにするが、一進一退が続く。

14：07　現役右中間にトライ、ゴール成功。

14：11　OB右隅にトライ、ゴール失敗。
　その後、OBゴール前にて膠着状態が続く。

14：20　現役中央にトライ、ゴール失敗。

14：25　ハーフタイム

14：30　後半開始、キックオフ（現役）
　開始と同時に現役、OBのゴールに殺到、OBキヤリバック。その後現役はダメ押しが出来ず一進一退が続く。

14：50　OBバックスのカッコイイ展開を、現役にインターセプトされ中央にトライ、ゴール成功

14：55　ノーサイド

結果4：16で惜敗。

50才を過ぎられた赤崎先輩（昭30）やそれに近い西松先輩（昭31）がプレーをされている姿を見ていると痛々しい限りです。参加者が年々減って来ておりますので諸兄のご来駕を、特に昭和50年代卒の若きOB諸君の積極的な参加を切に望む次第です、来年も4月29日に予定していますので今からスケジュールに入れておいていただきたい。

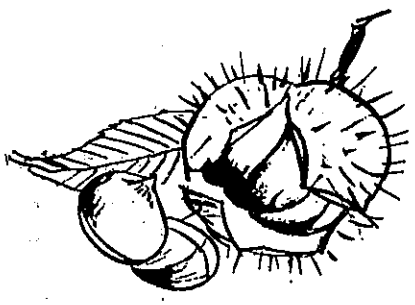
ゲーム終了後、食堂にてOB：現役の懇親会を開き、全員の自己紹介とOBからの激励があった。

出席者　山本、子安（昭29）井沢、赤崎、名取、横田（昭30）西松（昭31）山下（昭33）佐々木（昭42）田中（昭49）板垣（昭55）白川、浜名、森田、藤原、中元（昭56）山中、仁張（昭58）

新名簿作成中

運営委員会

目下、井沢（昭30）をチーフとして7名で各年代別に担当し、また西松（昭31）はさらに東京地区も担当して、新しい勤務先、住所を調べている。12月初めに間に合わすべく頑張っているが何分にも数が多いために非常に苦労をしています。今後、転勤、転職、転居等の移動があれば次に連絡して下さい。〒658　神戸市東区渦森台3－7－6　井沢俊之　または西松理夫，山下　弘（名簿参照）



医学部ラクビー部について

徳宮俊信（昭43）

昭和39年神大入学時、全学ラグビー部（医学部ラグビー部は神大ラグビー部を全学ラグビー部と呼んでいます。）はAリーグに昇格したときでした。当時医学部と全学ラグビー部の両方から勧誘されたのですが、Aリーグの魅力は絶大でちゅう躇なく全学ラグビー部に入部しました。幸運にも1年生よりレギュラーメンバーに選抜されたのですが、不運にも同志社大学のウイング坂田はトイメンでした。当時彼は日本ラグビー界の寵児であり、その引立て役を見事に果たしたのですが、そのことは今も甘にがい思い出として残っています。

全学ラグビー部に医学部の学生が入部したのは初めてで、医学部教養課程の単位数、カリキュラムが濃厚であるのを忘れ、又、諸先輩より"適当にやっておれば単位はとれる。"との甘言にだまされ、きっちり1年留年しました。結局全学ラグビーに在籍したのは教養課程の3年間で、専門課程で全学ラグビー部に在籍することは物理的に全く不可能でした。以後は医学部ラグビー部に入部しました。

医学部ラグビー部のビッグゲームは西医体（西日本医科、医学部総合体育大会）で、9月初めにもちまわり制で名古屋以西の主管校主催によりトーナメント形式で開催され、各校ともしのぎをけづって大会に臨みます。医学部と云っても決してあなどれず、6年間の現役生活は強力なチームに成長していきます。神大医学部ラグビー部は関西リーグのCブロックに加盟していますが、これは1校1チームの原則に反しており、医大の国立移管時、関西ラグビー協会で問題になりました。しかし前身の神戸医大よりリーグに加盟しているため我が校だけ特例として認められています。リーグ戦には最終学年は実習の都合で参加しないため新チームになり、充分な活躍は期待できません。

医学部ラグビー部OB会は神緑ラガークラブと称し、会員約200名の医学部としては大所帯で、年1回の総会を義務づけており、昨年は創立85周年記念パーティをポートピアホテルで開催し、記念誌を刊行しました。凌霜ラガークラブから井沢さんと西松さん及び現役キャプテンの参加があり、神緑ラガーと凌霜ラガーの初めての交歓会としても大きな意義のあった会と思っています。以前より全学ラグビー部と医学部ラグビー部を合併してはどうかとの話があり、神緑ラガークラブ総会にも議案として提出したのですが、その意義については認めながらも、具体的には医学部の特殊性から困難な問題が多く、今後の課題として保留されています。しかし何らかの形で親睦をはかっていきたい思いは同じで、卒業と同時に切れてしまうのはいかにも残念であり、何か良い方法は無いかと思案しています。

私の専門は内科（高血圧）です。最近、成人病、健康管理等で何かと取りざたされていますが、何か悩みがありましたら連絡下さい。微力ながら御助力させていただきます。

昭和58年度 凌霜ラガー総会報告

去る10月6日18時30分より大阪凌霜クラブにおいて40名が出席し、脇　英太郎君（昭44）司会で総会が開かれた。開会に先だち、逝去された方々へのご冥福を祈り黙とうをささげ、國領会長の挨拶、つづいて平野次郎大先輩（昭2）の音頭で乾杯ののち次の件につき討議・報告・挨拶があった。

1. 57年度会計報告及び58年度予算について　竹村秀博（昭33）
2. 年代別代表挨拶　中山源七（昭7）、太田奎吾（昭27）、野村康治（昭34）、室　伸幸（昭52）
3. OBチーム新役員紹介
4. 運営委員会報告及び新運営委員の決定　井沢俊之（昭30）
5. 現役チーム監督挨拶　田中俊明（昭49）
6. 東京凌霜ラガー総会報告　西松理夫（昭31）
7. ゴルフコンペの報告　永井長造（昭31）

それぞれの件については、

① 会費の集りが非常に悪いので会員それぞれの銀行口座より引き落しの方法をとることで賛成があり、脇（昭44）君の方で具体策を立てることになった。

② 主将に選ばれた葉室（昭43）君より「11月には是非初戦がやれるようにします」と積極的な挨拶があった。
（11月27日　住友銀行と対戦しますので、50年代卒の若いOB諸君の多数の参加を願います）

③ 新運営委員メンバーは別項参照。

④ 現役第1戦対大教大戦は9：7で勝つとの報告あり、是非Aリーグに上りたいとの抱負が語られた。

⑤ 詳細は別項参照

⑥ ゴルフコンペにできるだけ多くの参加を待っています。

寄稿のお願い

編集部では皆様の寄稿をお待ちしております。"ラグビーの思い出""ラグビー感""後輩への激励"等どんな事でも結構です。お願いします。

往年の新聞記事から

佐々木　慎太郎（昭42）

凌霜ラガー通信に寄稿を依頼され、何を書けばよいか思案したが、拙筆な私が書くよりも、ここに、昭和39年12月の毎日新聞の記事があるので御紹介する。

見出しが、「健闘した神大ラグビー部、初顔、しかも監督なし、団結力と得がたいセンス」となっている。以下抜萃して紹介する。

『13日終った関西大学対抗ラグビーリーグ戦で話題をさらったのが神大の活躍である……。神大にラグビー部ができたのは大正12年（当時は神戸高商）だから、ことしは42年目。しかし随分と長い間裏街道を歩んだ。一昨年ブロック制が設けられ、Bブロックに加わって4位、昨年はBブロックで優勝し、ことしから待望のAブロック入りをはたしたのである。

しかし「どうせBブロックあがりだ。名門校ばかりのAブロックにはいってもたち打ちできまい。すぐに逆戻りだよ」シーズン前、口の悪い新聞記者連が語り合っていた。事実、9月24日の関大との第1戦では3－56の完敗、同27日の同大にも8－42の大差をつけられた。国沢主将は「あのころは夢中だった。しかしAブロック校の当りとスピードに戸惑い、振り回されるばかりだった」と当時を思い起こす。

だが、それも長くはなかった。同大戦でも後半は5－13の善戦。「やればやれるんだ」自己を再認識したフィフティーンは見違えるように腕をあげた。10月に入っても11－25関学、12－21甲南大と連敗は続いたが、チームには力強ささえ見られるようになり、-粘りも生まれた。そして11月1日の京大戦では19－8で勝ち、40年ぶりに京大から勝ち星をあげた。同15日の天理大は6－3で辛勝、去る13日の立命は21－5で快勝して最終戦を飾った。4連敗、3連勝とは対照的なシーズンの前、後半であったわけだが、これはチームの成長過程を如実に物語っているといえよう。

国沢主将は「初めはただAでロックに残りたい一念だった。4位など考えてもみなかった。これだけやれたのはチームワークがよかったからでしょう」といっていたが、無監督制がチームワークの面でかえって幸いしたのではないだろうか。…

神大のよさは、このチームワークのほかに基本に忠実であることと、すぐれたラグビーセンスである。とくにセンスのよさは光っており、試合展開のうまさが光っている。工学部生が8人もいて練習量は随分と制約されているが……』と続く。

Aブロックで初白星が京大。現役、先輩諸兄、なんとか打倒京大、Aブロック昇格を目標に頑張ろうではないか！

おわりに、この当時の神大フィフティーンを紹介し、先日急逝された福田副主将に弔意を表し、当時の雄姿を思い浮べたい。

FW	井上③	FW	国沢④	TB	深山③
	石谷③		松村③		岡田③
	向井②		奥沢①		福田④
	有末②	HB	室賀①		徳宮①
	葉室①		佐々木②	FB	蒲田①

東京凌霜ラガー総会報告

原口　重孝（昭43）

9月14日、東京凌霜クラブにて凌霜ラガー東京会員の総会が開催されました。3年振りの総会で33名出席され楽しく歓談しました。

開会に先立ち、本年7,8月におなくなりになられた会員　今里麟次郎（大15）（7月没）、福田毅郎（昭40）（8月没）両氏のご冥福をお祈りしました。

東京にも若手会員が多くなり若手中心の新役員を下記の通りに決定しました。

支部長　田中　光季（昭19）
部　長　柏木昭二郎（昭26）
主　将　星川　翼（昭52）
副主将　広田　達也（昭54）
主　務　原口　重孝（昭43）

新主将星川氏よりしばらく中断しておりました対外試合も出来るだけやっていきたいとの抱負がありました。最後に商神を合唱し、新主将の発声によりエールをあげ閉会としました。

運営委員会報告

1. 昭和58年8月23日　於大阪凌霜クラブ
   a．総会開催について
   b．運営委員会再編成について
   c．会員名簿の発行について
   d．会報No.14の発行について
   e．現役春の戦績報告
   以上につき討議、報告を行った。

出席者　井沢（昭30）西松（昭31）竹村，山下（昭33）小玉（昭39）佐々木（昭42）脇（昭44）田中（昭49）国本（昭58）

2. 昭和58年9月27日　於大阪凌霜クラブ
   a．総会の進行方法について
   b．新運営委員とグランドキャプテンの決定
   c．会計報告　　d．会費徴収方法について
   e．会員名簿の作成について　f．会報発行について

出席者　井沢（昭30）西松（昭31）竹村，山下（昭33）小玉（昭39）佐々木（昭42）葉室，徳宮（昭43）脇，野中（昭44）磯江（昭53）

現役紹介

主務　村田治彦

氏名	学部	学年	出身校	ポジション
石崎　貴	経済	4	福岡明善	LOCK
上森　隆司	農学	〃	天王寺	WTB
雲財　信	〃	〃	神戸	FLANKER
江口　徹	経営	〃	高津	No 8
川崎　光二	教育	〃	茨木	LOCK
小松　伸啓	経営	〃	四条畷（主将）	CTB
仲野　真司	経済	〃	神戸	WTB
原田　信二	〃	〃	宇部	SO
福田　浩之	法学	〃	膳所	WTB
三森　啓章	経済	〃	高津（副将）	FLAN.
村田　治彦	工学	〃	茨木（主務）	WTB
松島　聡子	経営	〃	愛知千種	マネージャー
○青木　一彦	〃	3	天王寺	HOOKER
伊井　正明	教育	〃	茨木	PROP
遠藤　勉	工学	〃	高津	No 8
加島　志郎	経済	〃	天王寺	LOCK
加野　直生	教育	〃	北野	PROP
谷　哲二郎	経済	〃	天王寺（副務）	〃
玉置　誠	経営	〃	〃	WTB
中村　俊夫	経済	〃	兵庫	FLANKER
西野　裕章	経営	〃	高津	WTB
林　敬一	経済	〃	〃	SH
平野　勲	〃	〃	大手前	〃
古野　幸徳	経営	〃	〃	LOCK
森岡　秀文	〃	〃	天王寺	FB
柳瀬　秀夫	法学	〃	富田林	FLANKER
渡辺　隆	経営	〃	茨木	CTB
佐々木章乃	教育	〃	鳴尾	マネージャー
渡辺奈利子	経営	〃	唐津東	〃
○岡田　功	農学	2	大手前	LOCK
土居　幸治	〃	〃	北野	SH
中瀬　裕寛	法学	〃	四条畷	FLANKER
新川　一也	農学	〃	清風南海	CTB
新村　明寛	〃	〃	北野	FLANKER
槇本　朋史	教育	〃	兵庫	WTB
向井　昌博	〃	〃	四条畷	PROP
安井　健吾	経済	〃	石川小松	HOOKER
安武　幹雄	法学	〃	尼崎東	CTB
矢野　順三	経営	〃	四条畷	HOOKER
山口　基	医学	〃	天王寺	SO
新入部員				
鬼丸　省一	法学	1	四条畷	PROP
向井　信之	農学	〃	寝屋川	〃
藤井　貞男	〃	〃	高槻北	HOOKER
東川　浩三	経営	〃	高津	〃
芦田　泰	工学	〃	四条畷	LOCK
鎌田　雅彦	〃	〃	豊中	〃
児玉　信吾	経済	〃	愛知千種	SH
田村　達郎	経営	1	高槻南	SO
池田　訓清	〃	〃	天王寺	CTB
大寺　市朗	〃	〃	大手前	〃
柴田　俊介	経済	〃	四条畷	〃
草野　浩之	教育	〃	兵庫	WTB
谷口　直子	〃	〃	〃	マネージャー
山本　路子	〃	〃	神戸	〃
中谷　久一	農学	2	畝傍	FLANKER
イアン　ブレナー	経営	3年	オークランド大	FLANKER

現役春期戦績報告

主務　村田治彦

4.16	神大	14{ 6− 0, 8− 3} 3	関学同好会
17	〃	0{ 0−24, 0−20}44	ユニチカ
23	〃	36{14− 0,22− 4} 4	竜谷大
29	〃	16{10− 4, 6− 0} 4	凌霜ラガー
5. 1	〃	15{ 7− 0, 8− 4} 4	大阪ガス
3	〃	0{ 0− 7, 0− 6}13	大阪大
8	〃	20{12− 0, 8− 4} 4	京都大
14	〃	10{10− 4, 0− 0} 4	神戸学院大
15	〃	7{ 3−10, 4− 0}10	関西学院大
21	〃	22{10− 0,12− 4} 4	神商大
22	〃	24{16−15, 8−16}31	関西電力
29	〃	10{ 6− 0, 4− 6} 6	大市大
〃	〃	14{ 6− 0, 8− 4} 4	京都教育大
6. 4	〃	8{ 4− 0, 4− 6} 6	桃山学院大
5	〃	32{14− 4,18− 6}10	大阪市役所
11	〃	10{ 4− 8, 6−22}30	追手門学大
12	〃	76{ ? } 4	甲南大
18	〃	32{ 0− 0,32− 0} 0	神大同好会
25	〃	28{18− 6,10− 0} 6	新日鉄　堺
26	〃	40{10−6,18−6,12−0}12	芦屋クラブ
8.16	〃	24{8−0,16−0,0−0}0	京都工繊大
18	〃	8{ 4− 0, 4− 4} 4	奈良教育大
〃	〃	20{ 8− 0,12− 0} 0	大阪市教員
28	〃	18{ ? }14	神戸クラブ
30	〃	38{ ? } 4	大阪大

会費納入のお願い

会　計

昭和57年度の会費納入会員数は119名で、予算160名分に対し74％しか集まっておりません。毎年申し上げております通り、クラブの運営にも支障をきたしますので本年度分未だ納められておられない方はお納め下さるようお願い致します。

年会費　　5,０００円

払込先

○住友銀行　天満橋支店
　普通預金　No.９５７９７８　凌霜ラガークラブ

○三和銀行　大阪駅前支店
　普通預金　No. ２７５５７　凌霜ラガークラブ

入学時の思い出

小川浩彦（昭32）

我々５回生（新制）の部員は入学時４名と少く、また、西神戸方面から通学していたのは前号に寄稿された勝屋岩雄君が須磨から、小生が西代からの２名だけで、練習後はいつも一緒に帰っており、勝屋君は１７０cmの長身で美男子、小生は１５７cmで首が短くづんぐりむっくり、いつの頃からか凸凹コンビと云われ、小生は先輩から「おいボコ」と呼ばれるようになった。

我々が入学した昭和２８年は、前年アメリカと講和条約が成立し、六甲学舎の講堂が返還され、戦後はじめて講堂で入学式が行なわれました。しかし六甲学舎のまわりには、なお進駐軍の将校ハウス等が建ち並び、上のグランドで練習中に進駐軍の子供が生垣を越えて入ってきてボールを持って逃げるのを取り返しに追いかけて行くと、先輩から「生垣の向うは治外法権だぞ」と冗談におどかされ、護衛のＭＰに頼んで子供から取り返してもらったような思い出があります。

また、１年の時の松本での夏合宿では、丹羽先生を中心にきびしい練習でしたが、特に全員の合同練習の後のフッカーとしての１００本フッキングは、ミスをすると逆に１本づつ増える方法で、なかなか終らない日などは日は暮れてくるし、ハーフの井澤さんからは「ボコ、足の上げようがたらん」とどなられながらのつらい思い出もありましたが、首の強さでは１対１でスクラムを組めば小さくてもたいていの人には負けない自信があり、家でも後頭部から耳に紐を掛け、先に石をぶらさげて首を鍛えたものです。

最後になりましたが、現役諸君、昨年はＡリーグ入りをのがして非常に残念でした。今年こそは各人が自分の弱点を基礎訓練により克服し、神大フィフティーンの持てる最大限の力を発揮してＡリーグ入りを果されんことを期待します。

新運営委員及びOBチーム役員紹介

９月27日の運営委員会にて選出され、10月６日の総会にて承認された新メンバー及び役員は次の通りです。なを任期は２年間とする。

運営委員長　西松理夫（昭31）
副委員長　竹村秀博（昭33）
会計　脇英太郎（昭44）野中克己（昭44）
総務　山下　弘（昭33）葉室　力（昭43）
委員　井沢（昭30）永井（昭31）平井（昭37）
小玉（昭39）佐々木（昭42）徳宮（昭43）
清水（昭45）坂下（昭48）田中（昭49）
磯江（昭53）浜名（昭56）国本（昭58）
主将　葉室　力（昭43）
副主将　佐々木慎太郎（昭42）

昭和57年度 決算報告

脇　英太郎（昭44）

1. 収　入

項　目	予　算	実　績
前年度繰越	331,954	331,954
年会費	800,000	594,800
利　息		4,960
計	1,131,954	931,714

2. 支　出

項　目	予　算	実　績
クラブチーム運営費	160,000	0
会　報	100,000	71,000
通信費	120,000	74,320
協会費	17,000	5,000
慶弔費	30,000	0
現役補助	360,000	150,000
ＯＢ合宿参加補助	100,000	0
三商大戦補助	30,000	0
ＯＢ現役懇親会補助	80,000	148,420
雑　費	30,000	0
名簿作成費積立金	50,000	0
次期繰越金	54,954	482,974
計	1,131,954	931,714

昭和58年度 予算

1. 収　入

項　目	金　額
前年度繰越	482,974
会　費	800,000
計	1,282,974

2. 支　出

項　目	金　額
クラブチーム運営費	160,000
会　報	100,000
名簿作成費	120,000
通信費	120,000
協会費	11,000
慶弔費	30,000
現役補助	360,000
三商大戦補助	0
ＯＢ合宿参加補助	100,000
ＯＢ現役懇親会補助	80,000
総会運営費	70,000
雑　費	30,000
次期繰越金	101,974
計	1,282,974

編集後記　総会が10月に開かれたため本誌の発行が１ケ月遅れの11月になりました。今回はめずらしく記事が多くなり６ページで発行出来たのも、皆様のご協力のおかげと感謝しております。